

第5回協議会での主な意見・指摘事項への対応

No.	主な意見・指摘事項	対応(案)
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今、公共交通機関として走っているバスのバリアフリー化率等も、評価基準に挙げてはいかがでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策に“低床式バス車両の導入”を追加するとともに、評価指標には“低床式バス車両の導入率”を追加
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスロケーションシステムの導入対象については、運行頻度が高い路線よりも、むしろ低い路線の方が望ましいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指摘に基づき、運行頻度の低いバス路線においてもバスロケーションシステムが有効であるという表現に修正
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道に関する施策については、草津市が独自に取り組むことができないため、記載方法を工夫する必要があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 草津市単独で進めることのできない“鉄道の利便性”について、マスタープラン及び交通戦略から削除
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ BRTについては、専用空間の確保が課題に挙げられるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ BRTの課題として、“道路構造と照合した連節バスの運行実現性を確認すること”を追加
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば、BRTをバス事業者が導入するとなったとしても、県や市の補助もさることながら、国の支援も必要になってくるかと思うので、そのあたりのことも示してもらえたらと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係者としては、滋賀県、草津市、交通管理者、運行事業者と書いているが、諸々の施策を実現していくためには、当然、国の支援も不可欠と考えているため、国の位置付けについても追記
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来像を示す広域的な図面にある情報について、市域の図面に反映し、情報を精微した方が良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指摘に基づき、市域の図面を更新
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICカードについて、近江鉄道が独自に導入しているシステムを明記しておいた方が良い。 ・ また、その他機関と連携する施策も検討した方が良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指摘に基づき、近江鉄道バスがICカードをすでに導入していることを追記 ・ また、ICカードの共通化の検討に向けた実施状況を整理